

平成30年 6月 1日制定
平成30年 7月 5日改訂
平成30年 7月30日改訂
平成30年 8月 1日改訂

ウツドスポーツ 競技規則

ウッズスポーツ競技規則

ウッズスポーツは、
木を切る技術を要する「木ッター競技」
チーム全員の知恵を要する「立ッター競技」
チーム全員で息を合わせる「ゲッター競技」
の3種目からなり、木の持つ魅力や温かみに触れ、仲間づくりにつながり、子どもから大人まで楽しめることができるスポーツです。

〈競技について〉

1 参加者

- ・基本的に、4人1組で実施する。

2 装備

- ・道具は、主催者側で用意したものを使用することとする。
- ・ケガ防止のため、靴を履いて実施することとする。

3 記録

- ・成績の決定方法は、大会の実施要項に準ずる。
- ・勝敗の決定方法は、大会の実施要項に準ずる。

【木ッター競技】

ノコギリで角材を切り落とす早さを競う競技

1. 部門別の基準

(1) 一般男子の部は18cm角、一般女子の部・多世代の部は12cm角とする。

2. 競技の進め方（別紙図参照）

(1) 進め方について

- ① 4人のリレー方式で実施する。
- ② 走順を決め、審判の合図で第1走者と第2走者がスタートし、10m先の角材が設置された競技エリアに向かう。
- ③ 第2走者は角材を押さえ、第1走者は角材を切る。
- ④ 第1走者は、切り落とした角材を台の上に置き、スタート地点に戻り第3走者とタッチをしてリレーする。
- ⑤ 第2走者は、角材を押さえる第3走者が来てから切り始める。
- ⑥ 以降の走者も同様に実施していく。
- ⑦ 最終走者である第4走者は、切り落とした角材を台の上に置き、全員がスタート地点に戻って競技終了となる。

【順番】

角材を切る人	第1走者	第2走者	第3走者	第4走者
角材を押さえる人	第2走者	第3走者	第4走者	第1走者

(2) 制限時間

- ① 大会ごとに設定する。

3. 道具について

(1) 用具について

- ① 各チームにノコギリ1本を配付する。
- ② 走順に合わせて、ゼッケンを着用し軍手をはめる。
- ③ 各チームが使用する角材は、くじ引きにより決定する。

4. 記録・失格について

(1) 記録について

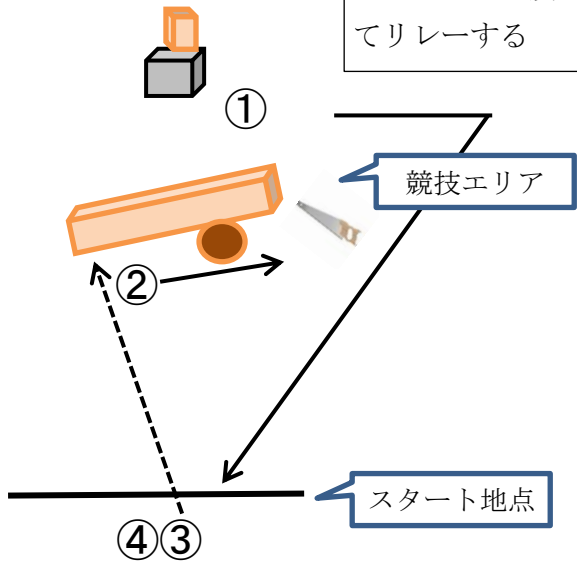
- ① 競技終了までのタイムを測定する。(小数点第2位まで)

(2) 失格について

- ① ノコギリが破損した場合、競技続行可能であれば続行しても良いが、競技続行不可能な場合は失格となる。
- ② 制限時間を設けた場合、制限時間内に、角材を切り落とすことが出来なかった場合失格とし、木ッター競技の得点は無しとする。

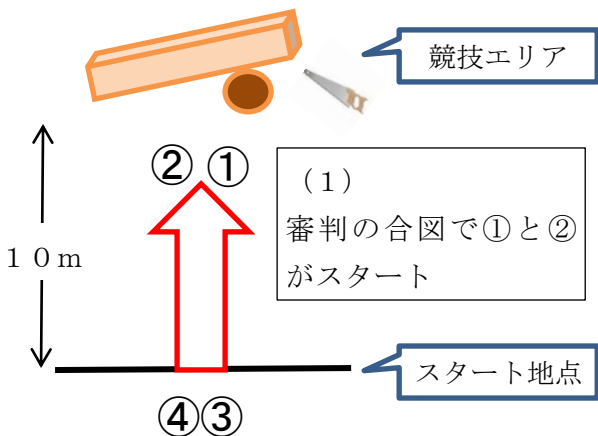
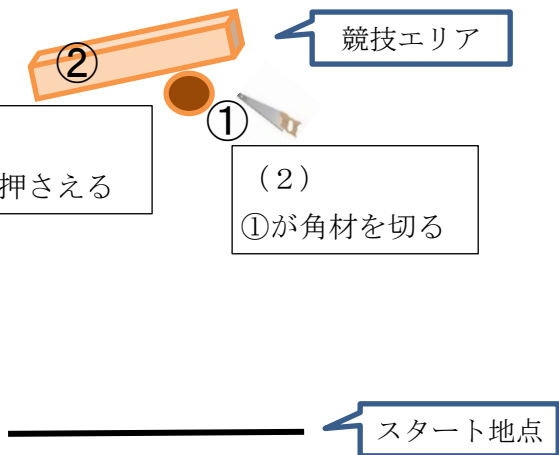
(4)
②は、③が競技エリアまで来て角材を押さえてから切り始める

(3)
①が切った角材を台の上に置き、スタート地点に戻り、③とタッチをしてリレーする



(2)
②が角材を押さえる

(2)
①が角材を切る



※丸数字は走順を示している。() 数字の通り競技を進める。

【立ッター競技】

1本の角材から作られた15cm角のつみ木を15個積み上げていく早さを競う競技。
(積み上げると、全長約185cm)

1. 部門別の基準

①特になし。全ての世代が同じルールで競技する。

2. 競技の進め方（別紙図参照）

(1) 進め方について

①4人のリレー方式で実施する。

②走順を決め、審判の合図で第1走者がスタートし、10m先の競技エリアに置いてあるつみ木を1個選び板の上に積む。

③つみ木を積む際は、つみ木の着色していない面（切り口）を上下にして積む。指定通りに積まれていない場合は認めない。

④スタート地点に戻り、次走者にタッチをしてリレーをする。

⑤競技途中でつみ木が崩れた場合、制限時間内であればその状態から競技を続行できる。

⑥スタート地点と競技エリアを1往復する間に積むことのできるつみ木は1個のみとする。そのため、つみ木を1個積み終えた後に崩れてきても積み直すことはできない。

⑦1個積み上げたあとであれば、ずれているつみ木等を修正することができる。
(積む前に修正することは、ルール違反とする)

⑧全てのつみ木を積み上げ、つみ木が崩れて地面に落ちる前にスタート地点に戻ることができれば競技終了とする。

(2) 制限時間について

①大会ごとに設定する。

3. 道具について

(1) 用具について

①指定の着色された15個のつみ木を使用する。

②走順に合わせて、ゼッケンを着用する。

4. 記録・失格について

(1) 記録について

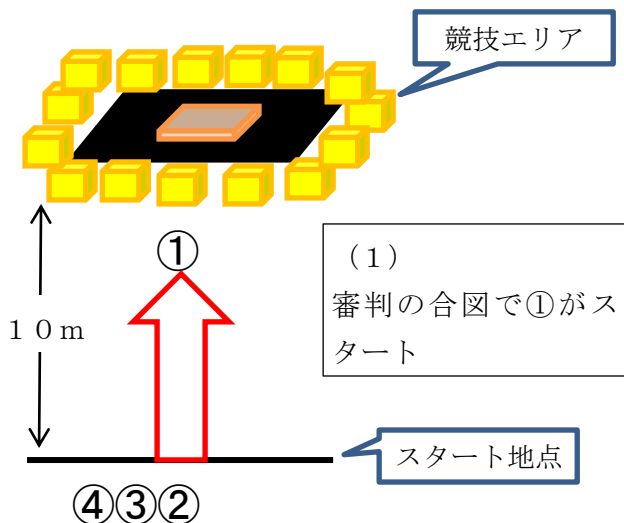
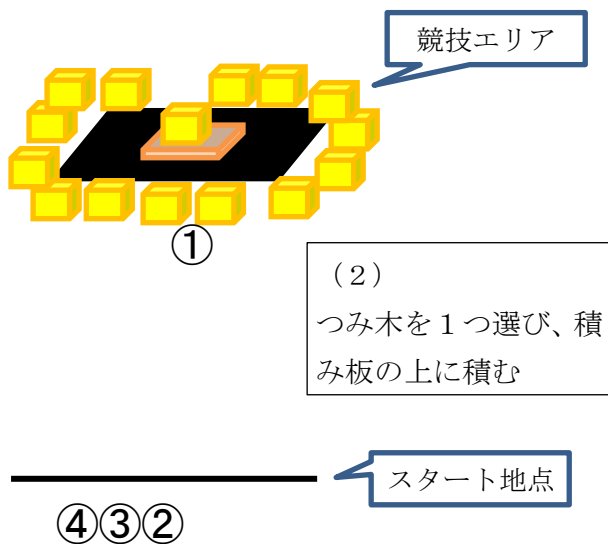
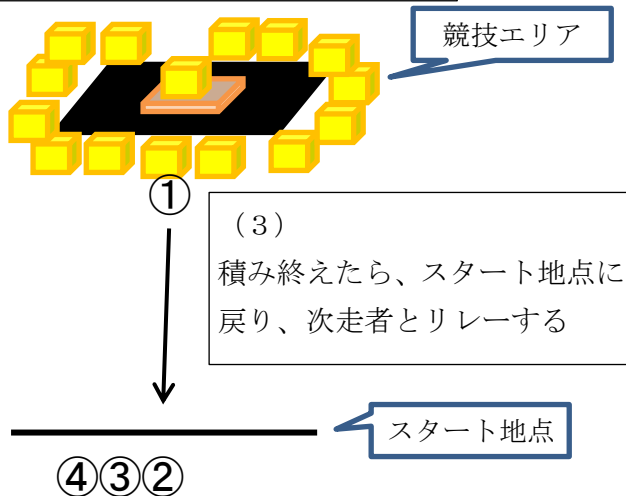
①全てのつみ木を積み上げることができたタイムを記録とする。

②制限時間内に全てのつみ木を積み上げることが出来なかった場合は、大会で定められたルールに基づいて、記録を決定する。

(2) 失格について

特になし

- ・着色していない面（切り口）を積んでいく。
- ・積み木が倒れた場合、制限時間内であればその状態から競技を続行できる。



※丸数字は走順を示している。() 数字の通り競技を進める。

【ゲッター競技】

約2.5mの4人用ゲッター（木製の長い下駄）を履き、動きを合わせながら前進して早くゴールを目指す（ムカデ競走の要領）競技。

1. 年代別の基準について

①特になし。全ての世代が、同じルールで競技する。

2. 競技の進め方（別紙図参照）

（1）進め方について

①スタート合図の前に、4人がゲッターを履く。

②審判の合図でスタートし、20m先のゴールを目指す。

③ゲッターの左右両方のかかどがゴールラインを通過して競技終了となる。ただし、4人全員がゲッターを履いていることが条件となる。

（2）制限時間について

①特になし。

3. 道具について

（1）用具について

①4人用のゲッターを使用する。

②ゼッケンを着用する。

③屋内で実施する場合は、屋内用のゲッターを使用する。（ゲッターの裏面にマットが取り付けられているもの）

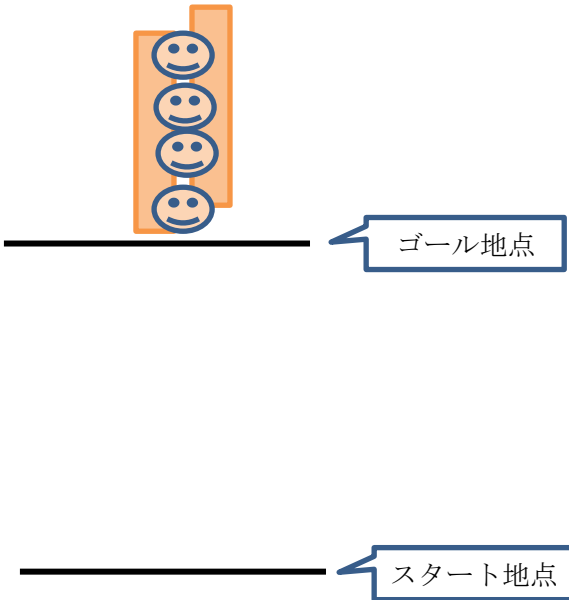
4. 記録・失格について

（1）記録について

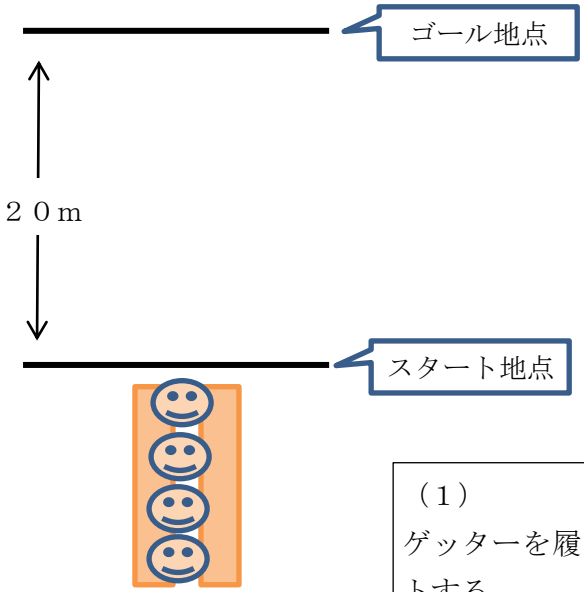
①ゴールしたタイムにより、順位を決定する。

（2）失格について

特になし



(2)
ゲッターの左右両方のかかと部分がゴールラインを通過した時点で競技終了



(1)
ゲッターを履き、審判の合図でスタートする

※ () 数字の通り競技を進める。

